

内令第四百二十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第九百十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一南遣艦隊司令部

大 佐 附 兼務一人 (佛印泰國境劃定委員會帝國海軍委員團委員長ノ兼務トス)

大 中 佐 附 兼務一人 (佛印泰國境劃定委員會帝國海軍委員團委員ノ兼務トス)

參照 昭和十六年内令第九百十三號ハ第一南遣艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百二十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四〇五

0458

内令

香港方面特別根據地隊

少佐、大尉	分隊長	一人
特務中少尉	隊附	一人
機關特務中少尉	隊附	一人
兵曹長	隊附	一人
主計兵曹長	隊附	一人
兵曹、水兵		百三十五人
機關兵曹、機關兵		四十六人
工作兵曹、工作兵		八人
看護兵曹、看護兵		二人
主計兵曹、主計兵		十人
特修兵ハ適宜トス		

内令第四百二十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

0459

昭和十七年内令第三百十八號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第百一海軍軍需部

兵科特務士官、准士官 附

二人(内吳鎮守府在籍者一)

機關科特務士官、准士官 附

一人

主計科特務士官、准士官 附

一人

兵 曹、水 兵

八人(内吳鎮守府在籍者一)

機關兵曹、機關兵

九人(内吳鎮守府在籍者一)

看護兵曹、看護兵

一人

主計兵曹、主計兵

四人

減員

海南警備府

内令

四〇七

0460

内令

四〇八

兵科特務士官、准士官 附

一人

兵 曹、水 兵

一人（吳鎮守府在籍者）

機關兵曹、機 關 兵

一人

主計兵曹、主計 兵

一人

支那方面艦隊司令部

看護兵曹、看護、兵

一人

主計兵曹、主計 兵

一人

参照 昭和十七年内令第三百十八號ハ第百一海軍軍需部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第四百二十六號

昭和十七年内令第五百五十號中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

末尾ニ左ノ如ク加フ

0461

水兵、機關兵 二人
主計兵 一人

参照 昭和十七年内令第五百五十號ハ豫備學生教育期間中東京海軍通信隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百二十七號

昭和十六年内令第四百十四號及同年内令第七百七十二號ハ之ヲ廢止シ^(終)昭和十七年二月二十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 鳴田 繁太郎

参照 昭和十六年内令第四百十四號及同年内令第七百七十二號ハ第九根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百二十八號

昭和十年内令第九十八號中「九人」ヲ「八人」ニ、「三十七人」ヲ「三十一人」ニ、「(掌水雷兵)^[高機雷 一八]」ヲ「(掌機雷兵)^[高機雷 一八]」ニ改ム

内令

四〇九

0462



内令

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ佐伯防備隊等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第四百二十九號

昭和十七年内令第七〇六號
本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第千六百三十一號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海南海軍航空廠

整備兵曹

一人

第百一海軍航空廠

整備兵曹

二人

参照 昭和十六年内令第千六百三十一號ハ海南警備府ニ人員臨時増置ノ件ナリ

0463

内令第四百三十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍艦政本部

技 師 出仕 兼務四十六人
技 手 附 兼務十九人

内令第四百三十一號

昭和十六年内令第四百四十三號、同年内令第五百九十號、同年内令第四百十六號、同年内令第四百三十九號、昭和十七年内令第五百四十四號、同年内令第六百六十五號及同内令第二百三十九號中

「第三艦隊司令部」ヲ「第二南遣艦隊司令部」ニ改ム

昭和十六年内令第四百五十五號中第一通信隊ノ項以下ヲ削ル

同年内令第四百五十六號中第三艦隊司令部ノ項ヲ削ル

左ノ内令ハ之ヲ廢止ス

内令

四二一

0464

内令

四二二

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十六年内令第四百九十三號

(第一根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)

同 年内令第四百八號

同 年内令第五百四十四號 (第三艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件)

同 年内令第千三百八十二號 (第二根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)

昭和十七年内令第 十 號 (第二通信隊ノ人員臨時減員ノ件)

同 年内令第九十八號 (第二防備隊ノ人員臨時減員ノ件)

内令第四百三十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

馬公海軍軍需部

書 記 附 兼務一人

0465

内令第四百三十三號

昭和十五年内令第千六號中海南海軍軍需部ノ項ヲ削ル

昭和十六年内令第千四百一號中「海南海軍軍需部」ヲ削ル

同年内令第千四百八十八號中「増減」ヲ「増置」ニ改メ「増員」、海南海軍軍需部ノ項及減員ノ部ヲ削ル

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十五年内令第千六號ハ第一海軍軍需部等ノ人員臨時減員ノ件
参照 昭和十六年内令第千四百一號ハ第二海軍軍需部等ニ人員臨時増置ノ件
同年内令第千四百八十八號ハ海南海軍軍需部等ノ人員臨時増減ノ件

内令第四百三十四號

昭和十八年内令第ルニハ
ニラ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減シ昭和十七年三月二日ヨリ之ヲ適用ス

昭十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎



内令

四一三

0466

内令

四一四

増員

第一南遣艦隊司令部

技 手 附 一人(氣象)

第四艦隊司令部

技 手 附 一人(氣象)

減員

水路部

技 手 附 二人(氣象)

内令第四百三十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十七年三月七日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五艦隊司令部(俊鶴丸ノ乗員ニ充ツベキモノ)

兵 曹、水 兵 五人(掌信機兵二 掌電信兵二)

0467



内令第四百三十六號 **昭和十八年内令第三十三號**
 昭和三十八年本號廢止
 當分ノ間潜水艦ノ發射關係業務ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス
 昭和十六年内令第三百九十九號、同年内令第六百九十號、同年内令第七十號及同年内令第一千二百九十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一潜水戦隊司令部	第二潜水戦隊司令部	第三潜水戦隊司令部	第五潜水戦隊司令部	第六潜水戦隊司令部	第七潜水戦隊司令部
附 三人	附 二人 (内舞鶴鎮守府在籍者一)	附 二人	附 二人 (内吳鎮守府在籍者一)	附 二人 (内佐世保鎮守府在籍者一)	附 二人 (佐世保、舞鶴各鎮守府在籍者)
七十二人 (掌水雷兵 高三六) (内佐世保鎮守府在籍者 高三四)	二十八人 (掌水雷兵 高三四) (舞鶴鎮守府在籍者)	二十八人 (掌水雷兵 高三四)	三十二人 (掌水雷兵 高三六)	二十人 (掌水雷兵 高三〇) (佐世保鎮守府在籍者 高三八)	二十八人 (掌水雷兵 高三四) (佐世保鎮守府在籍者 高三八) (舞鶴鎮守府在籍者 高三六)
兵	兵	兵	兵	兵	兵
特務中少尉、兵曹長	兵	兵	兵	兵	兵
曹、水	曹、水	曹、水	曹、水	曹、水	曹、水
兵	兵	兵	兵	兵	兵

内令

四一五

0468



内令

四一六

第八潜水戦隊司令部

附 三人 (内奥鎮守府在籍者一)

八十八人 (掌水雷兵 (高四四) (内奥鎮守府在籍者 (高六六) (普四四) (内佐世保鎮守府在籍者 (高四四) (普四四))

参照 廢止各内令ハ潜水戦隊司令部 (潜水艇ノ發射關係業務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百三十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四海軍工作部 (バラオ分工場ニ充ツベキモノ)

造船科佐尉官 副部員 一人
技 手 附 二人

内令第四百三十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十七年三月十日
内令第四百三十七號
ニテ本號廢止

0469

第一百海軍工作部

機關科、造機科佐尉官

副部員

十人

造船科佐尉官

副部員

一人

造兵科佐尉官

副部員

二人

内令第四百三十九號

昭和十六年内令第千四十七號中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 島田繁太郎

別表第一横須賀鎮守府ノ部中香港方面特別根據地隊ノ項ノ次ニ

第九特別根據地隊

ヲ加ヘ第九潜水隊ノ項ヲ削リ第一掃海隊ノ項

「四」ヲ「三」ニ改ム

同吳鎮守府ノ部中第十一驅逐隊ノ項「三」ヲ「四」ニ、第二十驅逐隊ノ項「三」ヲ「四」ニ改メ第

内令

四一七

0470

十二驅逐隊ノ項ヲ削ル

第十三潜水隊ノ項ノ次ニ

第十四潜水隊

伊伊
伊伊
伊伊
伊伊

ヲ加フ

同佐世保鎮守府ノ部中第十二特別根據地隊ノ項ノ次ニ

第十二	特別根據地隊	一	一				
第十三	特別根據地隊			一	一		

十一掃海隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第二十八潜水隊	(隊附二)				(伊三三各艦)
第三十潜水隊					(伊三三伊三三)
第七號掃海艇		一			
第八號掃海艇		一			
第十一號掃海艇		一			
第十二號掃海艇		一			

ヲ加ヘ第二十八潜水隊乃至第三十潜水隊及第二

0471

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一百海軍軍需部

機 關 中 佐	附	一人
機 關 科 佐 尉 官	部 員	一人
兵 曹 長	附	一人
兵 曹、水 兵		十六人
機 關 兵 曹、機 關 兵		十六人 (特修兵適宜)
主 計 兵 曹、主 計 兵		二人

内令第四百四十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第千三百七十號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内 令

四二一

0474

聯合艦隊司令部

兵科特務士官、准士官

附

五人

(吳鎮守府在籍者
佐世保鎮守府在籍者
四)

参照 昭和十六年内令第千七百七十號ハ聯合艦隊司令部ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内令第四百四十二號

昭和十六年内令第千七百八十號別表中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第七防備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「第七豊丸、感應丸、第八金比羅丸、第八振興丸」ヲ加フ
第十一特別根據地隊ノ項特設監視艇ノ欄「第七豊丸、感應丸、第八金比羅丸、第八振興丸」ヲ削ル

参照 昭和十六年内令第千七百八十號ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

0475

内令第四百四十三號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十七年三月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船	船舶名	特設艦船種別	所管
興亞丸		特設防潜網艇	吳鎮守府

592

1934

内令

四二三

0476

内令第四百四十四號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

驅逐艦 卷 雲

右警備驅逐艦ト定メラル

昭和十七年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府在籍
驅逐艦 卷 雲

内令第四百四十五號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九驅逐隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

内令

四二五

0477

内令

四二六

第十驅逐隊 夕雲、卷雲

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第四百四十六號

吳鎮守府豫備特務艦

特務艦 襟裳

右第四豫備特務艦卜定ム

昭和十七年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百四十七號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0478

特設特別工作部定員表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四九七頁参照)

内令第四百四十八號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十七年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ六中「卷波」ノ下ニ「卷雲」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ四八頁参照)

内令第四百四十九號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四二七

0479

内令

特修兵配置表其ノ十四中「巻波」ノ下ニ「巻雲」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五二頁参照)

四二八

0480

内令第四百五十號

特設驅潛隊編制中左ノ通改定セララル

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五十三驅潛隊ノ項中「第十一京丸、」ヲ削ル

第六十三驅潛隊ノ項中「第三文丸、」ノ下ニ「第十一昭南丸、」ヲ加フ

(昭和十六年内令第千二百五十一號參照)

内令第四百五十一號

特設掃海隊編制中左ノ通改定セララル

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十七掃海隊ノ項中「朝洋丸、第五朝洋丸、」ヲ削ル

(昭和十六年内令第千二百五十二號參照)

内令

四二九

0482

内令

四三〇

内令第四百五十二號

昭和十六年内令第七百八十號別表中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊防備隊ノ項特設掃海艇ノ欄ニ「朝洋丸、第二朝洋丸」ヲ加フ

第六防備隊ノ項特設驅潜艇ノ欄「第十一昭南丸」ヲ削ル

参照 昭和十六年内令第七百八十號ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第四百五十三號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

潜水艦、一等伊五十三型ノ項中「伊號第六十」ヲ、伊六十八型ノ項中「伊號第七十、」
「伊號第七十三、」ヲ削ル

0483



(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第四百五十四號

昭和十八年内令第三二六號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八通信隊

兵科 佐尉官 隊附 一人

特務中少尉、兵曹長 隊附 一人

兵 曹、水 兵 三十人(掌電信兵)(内吳鎮守府在籍者一四、佐世保鎮守府在籍者一)

内令第四百五十五號

昭和十六年内令第三百七十五號中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四三一

0484

内令

四三二

馬公海軍通信隊ノ部ヲ左ノ如ク改ム

特務中少尉、兵曹長 附	馬公海軍通信隊	桃園分遣隊	東沙島守備隊
兵 曹、水 兵	三十七人 <small>(掌電信兵^{三四} 特修兵^三適宜(略號)三)</small>	十人 <small>(掌電信兵六)</small>	四人 <small>(掌電信兵)</small>
機關兵曹、機關兵	二人 <small>(掌電機兵二)</small>		
看護兵曹、看護兵	一人		
主計兵曹、主計兵	一人		

参照 昭和十六年内令第千三百七十五號ハ佐世保海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百五十六號

昭和十四年内令第九百八十號中「第六十」、「第七十」及「第七十三」ヲ削ル

昭和十六年内令第四百五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0485

廢止

参照 昭和十四年内令第九百八十號ハ伊號第五十三潜水艦等ノ人員臨時増設ノ件
昭和十六年内令第四百五號ハ伊號第二十二潜水艦ニ人員臨時増設ノ件

内令第四百五十七號

昭和十七年内令第四百五十七號
ヲ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四艦隊司令部(第六回航班ニ充ツベキモノ)

機關兵曹、機關兵 十七人

内令第四百五十八號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四三三

0486

内令

四三四

漁船名	特設艦船種別	所管
漁船 海晃丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船 雄勝丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船 第五進取丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船 第五寶榮丸	特設監視艇	横須賀鎮守府

90 91 92 109

内令第四百五十九號

吳鎮守府在籍

伊號第七十潜水艦

伊號第七十三潜水艦

佐世保鎮守府在籍

伊號第六十潜水艦

右帝國潜水艦籍ヨリ除カル

0487

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百六十號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ一申「第六十、」、「第七十、」及「第七十三」ヲ削ル

(内令提要卷一、四一八ノ五四頁参照)

内令第四百六十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四三五

0488

内令

四三六

特修兵配置表其ノ十六中「第六十」、「第七十」及「第七十三」ヲ削ル

(内令提要卷一、四五四ノ二頁参照)

内令第四百六十二號

海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別ノ件申左ノ通改正セラレ

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

馬公海軍通信隊ノ部中

鶯 鑿 鼻 丁

ヲ

桃	鶯 鑿 鼻
園	丁

ニ改ム

(内令提要卷一、二七頁参照)

内令第四百六十三號

昭和十五年内令第八百二十二號別表中左ノ通改正ス

0489

昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府

横須賀防備隊			横須賀防備隊			第六防備隊			横須賀防備隊		
電纜敷設艇	哨戒艇	敷設艇	電纜敷設艇	掃海特務艇	哨戒艇	敷設艇	魚雷艇	哨戒艇	電纜敷設艇	掃海特務艇	哨戒艇
初島		猿島、浮島	初島	第一號、第二號		猿島、浮島、第一號	第一號、第二號、第三號、第四號、第五號、第六號	第一號、第二號、第三十四號、第三十五號、第三十六號、第三十七號、第三十八號、第三十九號	初島		

内令

四三七

ヲ

0490

内令

四三八

横須賀鎮守府			
	第六防備隊	第八特別隊	第二十三特別隊
哨戒艇	魚雷艇	掃海特務艇	敷設艇
第一號、第二號、第三十四號、第三十五號、第三十六號、第三十七號、第三十八號、第三十九號	第一號、第二號、第三號、第四號、第五號、第六號	第一號、第二號	第一號

ニ改ム

参照 昭和十五年内令第八百二十二號ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ(内令提要卷三、四八頁)

0491

内令第四百六十四號

昭和十六年内令第千四百十六號ハ之ヲ廢止ス



昭和十七年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十六年内令第千四百十六號ハ聯合艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

四三九

0492

内令第四百六十五號

昭和九年内令第四百十六號別冊艦艇、特務艦艇機關使用限度標準表中別表ノ通改正ス

別表ハ海軍省軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十七年三月十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百六十六號

大正十二年内令第百十三號中左ノ通改正ス

昭和十七年三月十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍需局ノ部中工作科特務士官、准士官「二人」ヲ「二人」ニ、

特務士官、准士官	一人
機關科特務士官、准士官	一人

特務士官、准士官	二人
----------	----

ニ改ム

機關科特務士官、准士官	三人
-------------	----

内令

四四一

0493

内令

参照 前記内令ハ派遣勤務員ヲ置クヘキ事及人員ノ件ナリ(内令提要卷一、四七二頁)

四四二

0494

内令第四百六十七號

三重海軍航空隊（假稱）定員表別表ノ通假定ス

前項ノ航空隊設立準備員ニ充ツル爲必要ニ應シ横須賀鎮守府ニ出仕又ハ附トシテ別表定員ノ範圍内ノ人員ヲ臨時増置スルコトヲ得

昭和十七年内令第二百七十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

（別表一葉添）

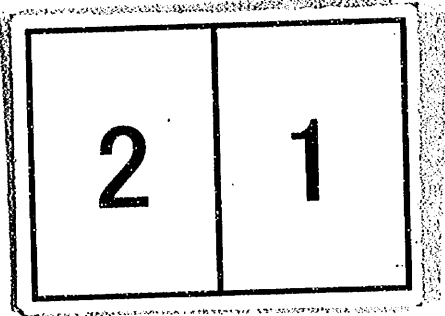
參照 昭和十七年内令第二百七十三號ハ昭和十七年七月三十一日迄横須賀鎮守府（三重海軍航空隊（假稱）設立準備員ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

四四三

0495

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	海軍航空隊定員表(仮定)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

内令第四百六十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四艦隊司令部

兵 曹、水 兵

十二人(特修兵適宜(附號))

内令第四百六十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設巡洋艦報國丸、愛國丸

飛行兵曹、飛行兵

三人(掌飛行兵(係三))

機關兵曹、機關兵

二人(掌機兵 内火一)

内令

四四五

0498

内令

四四六

内令第四百七十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦若鷹

兵 曹、水兵

二人(掌測的兵(高普一))

内令第四百七十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十七年三月十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年三月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳海軍建築部

主計科尉官 附 一人

0499

内令第四百七十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年三月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四海軍軍需部

兵科特務士官、准士官 附 一人

兵 曹、水 兵 二人

機關兵曹、機關兵 一人 (特修兵適宜)

主計兵曹、主計兵 四人

第四海軍軍需部 (ラバウル支部ニ充ツベキモノ)

特務中少尉、兵曹長 附 一人

機關特務中少尉、機關兵曹長 附 一人

主計特務中少尉、主計兵曹長 附 一人

内令

四四七

0500

内令

兵 曹、水 兵
機 關 兵 費、機 關 兵
主 計 兵 費、主 計 兵

二人
二人 (特修兵適宜)
三人

四四八

0501

内令第四百七十三號

昭和十七年六月三十日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第六百六十七號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年三月十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍軍醫學校

軍醫科佐尉官

附兼教官

四人

参照 昭和十六年内令第六百六十七號ハ昭和十七年三月三十一日迄前山海軍總術學校ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第四百七十四號

發電機用タービン機械ノ呼稱ヲ左ノ通定ム

昭和十七年三月十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

四四九

0502

内令

呼稱		發電機用タービン機械ノ呼稱		計畫使用蒸氣罐		原設計所
發電機	タービン	壓力	溫度	蒸氣	罐	
石川島式特九號六〇KWタービン	二、〇〇〇	九、七四〇	一六	飽和		石川島造船所
石川島式特零號四〇KWタービン	二、〇〇〇	一三、八八〇	二〇	飽和		石川島造船所
石川島式特零號一〇〇KWタービン	一、八〇〇	一七、〇〇〇	二〇	飽和		石川島造船所
石川島式特一號一〇〇KWタービン	一、八〇〇	一一、〇〇〇	二三	三〇〇		石川島造船所
石川島式特一號一三五KWタービン	一、八〇〇	一〇、二二〇	一八・三	二七五		石川島造船所
三菱式特一號三〇〇KW復水タービン	一、五〇〇	七、五〇〇	二〇	三〇〇		三菱神戸造船所
三菱式特一號四五〇KV A復水タービン	一、八〇〇	七、四三〇	二〇	二九五		三菱神戸造船所
三菱式特一號四〇〇KW復水タービン	一、五〇〇	七、五四〇	二〇	三〇〇		三菱神戸造船所
石川島式特三號六〇KWタービン	二、〇〇〇	一一、九三〇	三〇	三五〇		石川島造船所
三菱式特三號三二〇KW復水タービン	一、一〇〇	七、五三〇	三〇	三五〇		三菱神戸造船所

四五〇

0503

三菱式特三號四〇〇KW復水タービン	一、五〇〇	七、五〇〇	三〇	三五〇	三菱神戸造船所
三菱式特五號三〇〇KW復水タービン	一、五〇〇	九、九六〇	五〇	四五〇	三菱神戸造船所
三菱式零號二五〇KWタービン	三、六〇〇	一三、九四〇	二〇	飽和	三菱神戸造船所
石川島式零號四〇〇KWタービン	三、六〇〇	一二、七四〇	二〇	飽和	石川島造船所
石川島式零號三五〇KWタービン	三、六〇〇	一一、一七〇	二〇	飽和	石川島造船所
石川島式零號八〇〇KWタービン	三、六〇〇	一一、〇〇〇	二〇	飽和	石川島造船所
三菱式零號四〇〇KW復水タービン	一、八〇〇	七、五〇〇	二〇	飽和	三菱神戸造船所
石川島式一號一〇〇KWタービン	三、六〇〇	一一、二七〇	二二	三〇〇	石川島造船所
石川島式一號三〇〇KW復水タービン	一、八〇〇	八、〇三〇	一八・三	二七五	石川島造船所
三菱式二號六〇〇KW復水タービン	一、八〇〇	六、五五〇	二五	三三五	三菱神戸造船所
石川島式三號一三五〇KWタービン	三、六〇〇	一一、二九〇	三〇	三五〇	石川島造船所
三菱式三號二七〇〇KWタービン	一、八〇〇	一二、〇〇〇	三〇	三五〇	三菱神戸造船所
三菱式三號四〇〇〇KW復水タービン	一、八〇〇	九、九四〇	三〇	三五〇	三菱神戸造船所

内令

四五二

0504

内令

四五二

日立式三號	三〇〇〇KKV	AW	復水タービン	一、八〇〇	八、一九〇	三〇	三五〇	日立製作所
三菱式三號	八〇〇〇KKV	AW	復水タービン	一、八〇〇	六、五五〇	三〇	三五〇	三菱神戸造船所
石芝式四號	三〇〇〇KKV	AW	タービン	三、六〇〇	一一、〇〇〇	四〇	四〇〇	石川島芝浦タービン株式會社
三菱式四號	三〇〇〇KKV	AW	タービン	三、六〇〇	一一、二九〇	四〇	四〇〇	三菱神戸造船所

記 一、昭和六年度以降計畫ノ發電機用タービン機械ニ對シ呼稱ヲ附與ス
 事 二、標準型式ニ在ラザルモノニ對シテハ呼稱中原設計所ヲ示ス語ノ次ニ特ノ字ヲ附ス

0505

内令第四百七十五號

潜水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年三月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十二潜水隊ノ項中「伊號第六十九」ノ下ニ「伊號第七十一、伊號第七十二」ヲ加フ
第二十潜水隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第四百七十六號

掃海隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年三月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一掃海隊ノ項中「第四號」ノ下ニ「第五號」ヲ加フ

(内令提要卷一、七二頁参照)

内令

四五三

0506